

各位

会社名 セーラー広告株式会社  
代表者 代表取締役社長 村上 義憲  
(コード 2156 東証スタンダード市場)  
問合せ先 執行役員総務局長 西分 太郎  
(電話 087-825-1156)

### 法人税等調整額の計上および 親会社株主に帰属する当期純利益に関する前年実績との差異について

当社は、2023年3月期第4四半期連結会計期間（2023年1月1日～2023年3月31日）におきまして、法人税等調整額を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、2023年3月期連結累計期間（2022年4月1日～2023年3月31日）における親会社株主に帰属する当期純利益について、前年実績との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 法人税等調整額の計上

当社は、現時点での将来の課税所得を見積り、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、2023年3月期第4四半期連結会計期間（2023年1月1日～2023年3月31日）に法人税等調整額（損）25百万円を計上することといたしました。これにより、2023年3月期連結累計期間（2022年4月1日～2023年3月31日）における法人税等調整額（損）は0百万円となりました。

#### 2. 親会社株主に帰属する当期純利益に関する前年実績との差異

当社グループにおきましては、デジタル技術を活用した提案活動に取り組むとともに、高度化するお客さまのご要望に対して新しい商品やサービスの提案を行い、より質の高いコミュニケーション効果の創造に努め、顧客基盤の拡大を図ってまいりました。こうした取り組みの結果、インターネット広告を中心としたデジタルマーケティング分野のプロモーション活動を安定して受注したことに加え、国内旅行に関する広告出稿の再開のほか周年事業や新規出店・各種展示会に関連したプロモーション活動、Webサイトのリニューアル、参議院選挙関係、夏季休暇にあわせた各種イベントやセミナーの開催などがありました。また、当連結会計年度におきましては、国内旅行の需要回復に向けた誘客プロモーション事業や地元活性化を目的とした大型イベントの企画運営に加え、新たに指定管理事業の受託がありました。以上から、当社グループの2023年3月期通期の総売上高は7,561百万円（前期比113.3%）となりました。また、広告受注量の増加に伴う営業活動費用の増加から販売費及び一般管理費が1,467百万円（前期比105.4%）となりましたが、利益率向上を意識した営業活動の徹底によって、営業利益は168百万円（前期比282.6%）、経常利益は187百万円（前期比247.6%）、親会社株主に帰属する当期純利益は136百万円（前期は25百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

(参考) 2023年3月期 連結経営成績

	総売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)
2022年3月期実績 (A)	6,672	59	75	△25
2023年3月期実績 (B)	7,561	168	187	136
増減額 (B-A)	889	108	111	161
増減率 (%)	13.3	182.6	147.6	—

#### 3. 業績に与える影響

上記につきましては、本日公表の「2023年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。詳細につきましては、こちらをご確認ください。

以上